

授業概要

教育心理学とは、特定の対象（幼児、児童、生徒）に対して、何らかのはたらきかけを行い、対象がより良い方向に変化する過程について、研究する学問である。本講義では、幼児、児童及び生徒の心身の発達過程、学習過程に関する基礎的な知識を学ぶ。各回の講義では、教授・学習、パーソナリティ、社会性、動機づけ、人間関係、教育評価など、教育心理学において基本的かつ重要な概念を理解する。さらに、最近の新たな教育的問題も視野に入れ、教育心理学的な視点から諸問題を考察する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：教育心理学の内容と方法
第 2 回	教育と発達のかかわり
第 3 回	乳児期～幼児期の発達
第 4 回	児童期の発達
第 5 回	青年期の発達
第 6 回	パーソナリティの発達
第 7 回	社会性の発達
第 8 回	学習を支える動機づけ・学習意欲
第 9 回	学習のメカニズム①：学習理論、記憶
第 10 回	学習のメカニズム②：問題解決
第 11 回	授業をどのようにデザインするか
第 12 回	学級における心理学①：教師と子どもの関係
第 13 回	学級における心理学②：学級集団の友人関係
第 14 回	教育評価を指導に生かす
第 15 回	教師の熟達
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達過程、学習過程に関する基礎的知識を身につける。
- ・ 幼児、児童及び生徒の発達や学習を支える方法について、基礎的な考え方を理解する。
- ・ 最近の新たな教育的問題も視野に入れ、教育心理学的な視点から諸問題を分析する力を身につける。

履修上の注意

授業は講義形式で行うが、コメントを書くなどのワークを毎回課すので、積極的に授業に参加すること。出欠は厳密に記録にとるので、そのつもりで受講すること。

予習・復習

予習として、予め配布する資料に目を通しておくこと。
また、資料と授業の内容を併せて復習し、参考文献なども用いて理解を深めること。

評価方法

授業での取り組み（40%）と期末試験（60%）によって行う。
授業での取り組みについては、授業で課すレポート等の評価および提出状況と、授業態度なども考慮する。

テキスト

テキストは指定しない。毎回の授業で資料を配布する。授業内で適宜、参考文献を紹介する。